

## 令和8年度 第1回 入野中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年4月28日（火） 9時30分から11時35分まで
- 2 開催場所 入野中学校 大会議室
- 3 出席委員 大塚 哲雄、田澤 健司、御室 福二、齋藤 良夫、幅 あけみ、  
内藤 明子、村上 さくら、神谷 優
- 4 欠席委員 田口 章
- 5 オブザーバー 松下 正行（浜松市議会議員）、岩田 邦泰（浜松市議会議員）  
竹中 良輔（入野協働センター主任）
- 6 学 校 池田 隆宏（校長）、梅田 研（教頭）、  
山田 亘（主幹・CS担当）、久保 理絵香（CSディレクター）  
鈴木 和美（2年主任）、青木 龍太郎（2年副主任）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 久保 理絵香
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、内藤委員から田澤委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 10 協議事項

- (1) 令和8年度学校運営の基本方針について
- (2) 学校いじめ防止基本方針について
- (3) 学校運営協議会の自己目標について
- (4) 「夢育やらまいか」意見書について

### 11 会議記録

司会の山田主幹から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 入野中学校運営基本方針について
- (2) 学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、池田校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針、学校いじめ防止基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 担任の先生が小さな表情の変化に気づいて、抱えていた問題を解決してくれたことがあった。生徒のことを本当によく見てくれていて、家庭ではわからない変化に気づいてくれてありがたい。（村上委員）
- ・ 民生委員の時に、子どもの様子がおかしいことに学校の先生が気づき、先生と話ができたことで、本人が納得できたという事例があった。学校の先生が話を聞いてくれてありがたい。いじめの認知件数が多いことはよいことだと思う。（幅委員）
- ・ 若い先生が増え、生徒と近い関係でとてもよいと思うが、ベテランの先生にしか見えないこともあるので、ベテランの先生が若い先生を育ててほしい。  
また、地域にも子どもに声をかけられる大人がいるとよい。（内藤委員）
- ・ SNS等の見えないところでの出来事はどうしようもないので、生徒のSNSのリテラシーを高めることが大事である。してよいことといけないうこと、発信者と受け手の受け止め方の違いなど、具体的な危険性などを学ぶことが必要だと思う。（神谷委員）

- ・ 学校の中でリテラシーを高めるために行っていることはあるか（田澤委員）
  - 技術科でのモラルを含めた情報学習、情報モラル講座（予定）、情報モラルに関する資料を扱った道徳の授業、各学級での人間関係プログラムなどを行っている。家庭とも連携していきたい。（梅田教頭）
- ・ 先日視察した大阪の学校では、子どもの権利を軸として「生きる教育」を行っている。子どもの権利条約を受けて、浜松でも令和9年の子どもの権利に関する条例施行に向けて動いている。いじめは子ども自身が言えるということが大事。自分の意見を言っ  
てよいのだと思えるように、子どもの権利について取り組んでほしい。（松下議員）
- ・ 表情などの変化を察知することが第一歩で、先生方が生徒のことを観察していることが大切である。いじめも子どもたちの自己主張（自我）の一つであるが、それぞれの権利があるということが分かってこそその自己主張でなくてはならない。（田澤委員）
- ・ 若い先生の感性の鋭さ、中堅の先生の経験値が発揮されている。入野中では、中堅の先生方が若い先生方に教えることができる職員集団ができているのだと思う。校長先生の話にあった、「認知できないいじめをなくす」ということはとても大事である。（大塚会長）
- ・ 学校運営方針の中にある、教師にとっても学校に行くのが楽しいということは、一番大事だと思う。それが子どもたちにも伝わり、生徒にとって楽しい学校になることにつながる。（御室委員）
- ・ 長い時間働くのだから、自ら楽しむ方が良い。生徒にとっては、一日の中で学校にいる時間が圧倒的に長いから、その時間を楽しむことが大事。（岩田議員）
- ・ 先生方は、若い世代もベテランも一責任者となる。いじめ問題も一人で抱え込まず、チームで対応することが大事。その中で若い先生が育っていくとよい。（田澤委員）

## （２）学校運営協議会自己目標の決定

議長の指示により、前年度の自己評価を確認し、それをもとに目標を決定することとした。また、2学年職員より今年度取り組もうとしている活動について説明があり、それを踏まえて、次の2つを今年度の目標にすることとし、全員異議なく承認した。

- ・ 委員相互が更に相互理解を深め、人間関係を構築し、和やかに熟議の活発化を図る。
- ・ 学習ボランティアの確保や、地域を知り・支え・創る活動とその体制づくりなどに取り組む。

## （３）夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、梅田教頭から、夢育やらまいか事業について、環境教育の充実、文化・芸術体験学習の充実、自然体験学習の充実に6万円の予算を執行する旨の説明があり、全員異議なく承認した。

### その他報告事項等

- ・ 協働センターより
  - 入野協働センター竹中主任から「入野中学生と入野地区コミュニティ協議会との連携」について説明があった。
- ・ 司会から、次回会議は、令和8年7月14日（火）9：30～大会議室で開催する旨の報告があった。